

近畿大学  
心理臨床・教育相談センター紀要

第3巻

Vol.3

2018

近畿大学  
心理臨床・教育相談センター

## 目 次

巻 頭 言	小泉 隆平	
<b>論文</b>		
大学生の疲労に及ぼす要因の検討 —ストレスコーピングとレジリエンスの観点から—	山本 春香	1
実習形式で学ぶコミュニケーションの授業における 大学生の対人不安・社会人基礎力・コミュニケーションスキルの変化 大対香奈子・本岡 寛子・堀田 美保・直井 愛里		9
児童の教室復帰に向けた効果的な別室運営 —小学校教職員と別室担当教職員に対する半構造化面接の分析から— 奥澤 嘉久・中川 靖彦・小泉 隆平		19
<b>修士論文</b>		
認知的評価と対人ストレスコーピングが対人ストレス低減に及ぼす効果 —ポジティブ感情が及ぼす影響に着目して—	畑中 慎平	31
<b>事例論文</b>		
不登校の小学生女兒への家庭訪問相談	長田 道	43
<b>実習報告</b>		
学外実習 (M2)		
医療領域		
近畿大学医学部附属病院メンタルヘルス科	伊佐 香織	51
近畿大学医学部附属病院心療内科	英賀 舞子	52
医療法人養人会 国分病院	北山 徹也	53

## 教育領域

京都府清明高等学校	伊佐 香織	55
東大阪教育センター	南川 萌	56
向日市立向陽小学校	阪野 大	57
箕面市教育センター	英賀 舞子	58

## 福祉領域

みどりトータル・ヘルス研究所	南川 萌	59
奈良市社会福祉協議会 奈良市総合福祉センターみどり園	阪野 大	60

## 産業領域

エンカレッジ	北山 徹也	62
--------	-------	----

## 学内実習報告

心理臨床・教育相談センター	有馬 裕介	63
心理臨床実践実習	橋本 浩子	64

## 施設見学報告

施設見学について	楠 麻依子	67
2017年度 心理臨床・教育相談センター活動報告	山路 和英・南川 萌	69

## 資 料

近畿大学 心理臨床・教育相談センター紀要 執筆要項		77
近畿大学 心理臨床・教育相談センター規程		78

## 「近畿大学心理臨床・教育相談センター紀要」 執筆要項

2018年10月改訂

1. 近畿大学心理臨床・教育相談センター紀要（以下、心理臨床・教育相談センター紀要）に掲載されるのは、(1) 論文、事例報告 (2) 心理臨床・教育相談センター活動報告、(3) その他、とする。
2. 投稿資格は、近畿大学心理臨床・教育相談センターの相談員ならびに近畿大学の教員、近畿大学大学院総合文化研究科心理学専攻の学生もしくはその修了者、研修員であることとする。更に、当センターに寄与すると認める者。
3. 論文は、臨床心理学、教育相談等に関する未公開の論文とする。
4. 事例・調査の場合、対象者の了解を得る。了解が得られない場合には、個人が特定される情報には十分配慮し、プライバシーを尊重する。
5. 論文の内容は未公開（学術および一般雑誌、大学や研究機関の紀要、一般図書に掲載されたことのない）のものに限る。
6. 論文は、内容によって研究論文、事例報告に分けられる。論文は臨床心理学、教育相談等に関する学術論文を示し、研究論文は、A4の用紙で縦置き・横書きで40字×40行×10枚を限度とする。事例報告は、40字×40行×8枚を限度とする。実習報告は、40字×40行×5枚を限度とする。
7. 論文は、ワープロソフト（Wordを基本とする）を用いて作成した論文1部とそれを記録した電子媒体（FD、CDなど）を提出する。1ページは1600字（40字×40行）横書きとし、10.5ポイント以上のサイズの文字を用いる。
8. 研究論文の構成は、表題、著者氏名と所属、英文表題、英文著者氏名と所属、日本語要約（キーワードを含む）、問題（または目的）、方法、結果、考察、引用文献からなることを原則とする。英文論文の場合、ネイティブスピーカーに校閲を受けることが望ましい。
9. 論文原稿の作成にあたって留意すること。
  - (1) 原稿第1ページから本文とし、付記、謝辞、文献まで続ける。別紙に表題、著者名、英文著者名と所属機関名（教員は学部まで、院生はコースまで）をこの順に記す。共著の場合、すべての英文共著者名と所属機関名を記載する。
  - (2) 本文中の章、節、項には、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲ……、1、2、3、……、(1)、(2)、(3)、……、の番号で表記する。
  - (3) 図、表などは、別紙に記し、本文中に挿入場所を指定する。また、図はFigure 1……、表はTable 1……、という形式で通し番号をつける。
  - (4) 句読点は「。」、「、」とする。
  - (5) 引用文献は、論文の最後に、著者名のアルファベット順に、一括して挙げる。文献の示し方は日本心理臨床学会「心理臨床学研究」執筆要項に従うこと。
  - (6) 脚注は通し番号をつけ、別紙に記載する。本文中にはそれに対する番号を上付1/4角で付ける。
  - (7) 要約の長さは日本文の場合は400～600字、英文の場合は100～175語とする。また、5つ以内のキーワードをつける。要約とキーワードは別紙に記載する。
  - (8) 論文の投稿に際しては、紀要原稿添付表、ワープロ原稿（本文と図、表など）3部を提出する。
10. 投稿原稿の採択と掲載の採否は、査読を経て編集委員会で決定し、投稿者（著者）に通知する。
11. 論文の抜刷りは、30部までは無料とする。

近畿大学 心理臨床・教育相談センター紀要 第3巻

---

発行日 2019年3月15日

編集後記 近畿大学 心理臨床・教育相談センター  
〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番15号  
TEL/FAX (06) 4307-3105

印刷 近畿大学管理部用度課 (出版印刷)

---

